報道関係者各位

PRESS RELEASE
2026.10.06
レバレジーズ株式会社

「物流2030年問題」への危機感高まる
7割超が将来の配送遅延に不安

ドライバー不足に関する意識調査

レバレジーズ株式会社が運営するエッセンシャルワーカー向けキャリア支援サービス「レバジョブ」（https://levjob.jp/）は、全国の20代～60代以上の男女647名を対象に「ドライバー不足に関する意識調査」を実施しました。

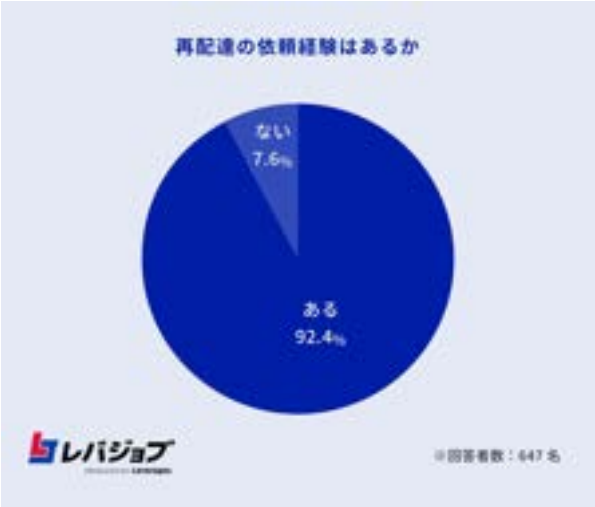
〈調査サマリー〉

1. 9割以上が再配達の依頼経験あり、理由は「配達日時を指定していなかったから」が最多
2. 再配達有料化に「賛成」が52.7%と過半数、ドライバーの負担軽減を評価
3. 「物流2030年問題」への危機感、配送遅延への不安は7割超に
4. 物流の人手不足解消へ、求められるのは「賃上げ」と「再配達削減」

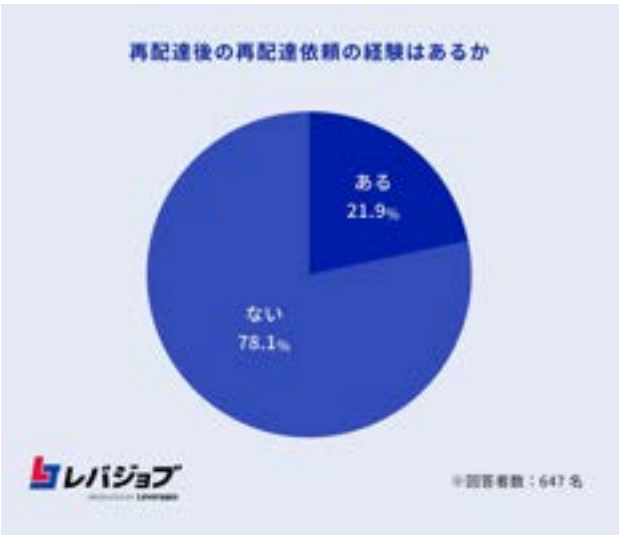
1. 9割以上が再配達の依頼経験あり、理由は「配達日時を指定していなかったから」が最多

再配達を依頼した経験については9割以上が「経験がある（92.4%）」と回答しました。

再配達が発生した理由としては、「配達日時を指定していなかったから（34.1%）」が最多となり、次いで「配達予定日・時間を把握していなかったから（20.1%）」「急な仕事や予定が入り不在だったから（17.9%）」となりました。



さらに、再配達の手配を行った後にも受け取れず、さらに再度配達してもらった経験（2回以上の再配達）があるか尋ねたところ、約2割が「経験がある（21.9%）」と回答しました。直近で再配達後の再配達が発生してしまった理由としては、「急な用事や仕事が入ったため（39.4%）」という理由のほか、「不在でも再度配達してもらえると思ったため（14.1%）」といった意識の問題も一定数存在することが判明しました。



2. 再配達有料化に「賛成」が52.7%と過半数、ドライバーの負担軽減を評価

物流業界における人手不足対策の一つとして議論される「再配達有料化」について聞いたところ、「非常に賛成（18.2%）」「やや賛成（34.5%）」を合わせて過半数が賛成と回答しました。

賛成する理由としては、「ドライバーの負担軽減につながると思うから（85.9%）」が最も高く、次いで「再配達の削減につながると思うから（68.6%）」「人手不足対策として必要だと思うから（54.8%）」が続きます。

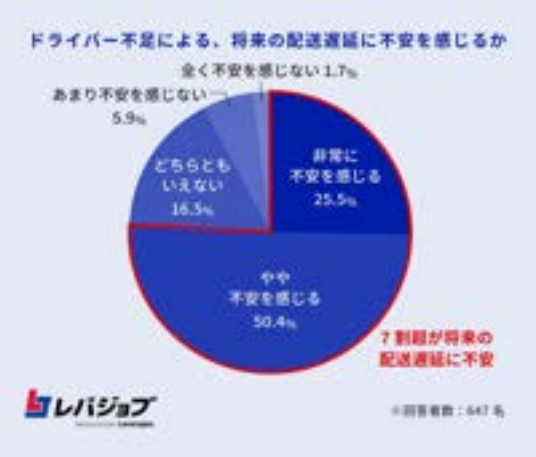
一方、反対の理由では「利用者の負担が大きくなると思うから（68.3%）」や「急な予定変更など避けられない事情もあると思うから（56.7%）」が上位を占めました。

3.「物流2030年問題」への危機感、配送遅延への不安は7割超に

物流業界の2030年問題について聞いたところ、「内容まで知っている（13.8%）」「名前は聞いたことがある（41.0%）」を合わせて、54.8%が認知していました。

一方で、今後ドライバー不足などを背景に配送遅延が増える可能性については、「非常に不安を感じる（25.5%）」「やや不安を感じる（50.4%）」を合わせ、7割超が不安を抱いていることが分かります。

物流業界を取り巻く課題への認知は十分に広がっているとは言えないものの、配送サービスの品質や今後の影響については高い関心が寄せられていることがうかがえます。



4. 物流の人手不足解消へ、求められるのは「賃上げ」と「再配達削減」

物流業界の人手不足を改善するために必要だと思う施策について聞いたところ、「賃上げ（61.4%）」が最も高く、次いで「再配達削減（53.9%）」「働き方の改善（51.9%）」「宅配ボックスの普及（45.4%）」が挙げられました。

また、待遇改善や就労環境の整備に加え、受取インフラの拡充やAI・自動運転などのテクノロジー活用も、人手不足解消に向けた施策として必要だと考えられていることが分かりました。

〈レバジョブ サービス責任者 森山 智典のコメント〉

今回の調査では、再配達の依頼を経験したことがあると回答した人が9割を超え、その理由としては「配達日時を指定していなかった」「配送予定を確認していなかった」などといった回答が多く見られました。一方で、再配達有料化には過半数が賛成しており、配送現場の負担軽減や物流課題への理解が広がっていることがうかがえます。

物流業界では「2030年問題」を背景に、人材不足のさらなる深刻化が懸念されています。
持続可能な物流サービスを実現するためには、企業による待遇改善や業務効率化、テクノロジー活用に加え、生活者が受け取り方法を工夫するなど、社会全体で物流負荷を分散していくことが重要です。物流を支える人材の確保と、配送効率の向上を両輪で進めることが、将来にわたり安定した物流インフラの構築につながるといえるでしょう。

◆森山 智典（Tomonori Moriyama）レバジョブサービス責任者

2020年にレバレジーズ株式会社へ入社。IT領域におけるキャリア支援に従事した後、福岡支店長およびエリアマネージャーを歴任し、地方拠点の立ち上げ・事業拡大を牽引。現在は、エッセンシャルワーカー向けキャリア支援サービス「レバジョブ」の立ち上げを担い、サービス責任者として事業全体を統括している。

＜調査概要＞

調査年月：2026年7月17日～7月21日

調査方法：インターネット調査

調査主体：レバレジーズ株式会社

実査委託先：GMOリサーチ&AI株式会社

有効回答数：647名

調査対象：月1回以上ネット通販利用または荷物の自己受け取りを行う20代～60代以上の男女

レバジョブ（ https://levjob.jp/ ）
レバジョブは、人々の生活やインフラなどの維持に必要不可欠（Essential）な仕事に従事する“エッセンシャルワーカー”と呼ばれる方々向けの転職サービスです。エッセンシャルワーク領域では、国内の生産年齢人口の減少や高齢化により、人手不足が深刻化しています。特に、近年人手不足や長時間労働が深刻化している物流・建設業界への支援を皮切りに、転職・採用支援を通して、誰もが安心して暮らせる社会の実現を目指します。

レバレジーズ株式会社（ https://leverages.jp/ ）
本店所在地 ： 東京都渋谷区渋谷二丁目24番12号　渋谷スクランブルスクエア24階 /25階
代表取締役： 岩槻　知秀
資本金　　：5,000万円
設立　　：2005年4月
事業内容　：IT、医療・ヘルスケア領域をはじめとした人材事業、SaaS事業、M&Aコンサルティング事業 など

「社会課題の解決」を軸に、IT、医療・ヘルスケア領域をはじめとした人材事業・SaaS事業、M&Aコンサルティング事業など、国や業界をまたいだ様々な領域で複数のサービスを展開。2005年に創業以来、黒字経営を継続し2025年度は年商1700億を突破しました。業界を絞らないポートフォリオ経営と、各分野のスペシャリストが集うインハウスの組織体制で、時代を代表するグローバル企業を目指します。（会計基準変更後）

本リリースに関する報道関係のお問い合わせ
レバレジーズ株式会社　広報部
TEL：03-5774-2900　MAIL： pr@leverages.jp